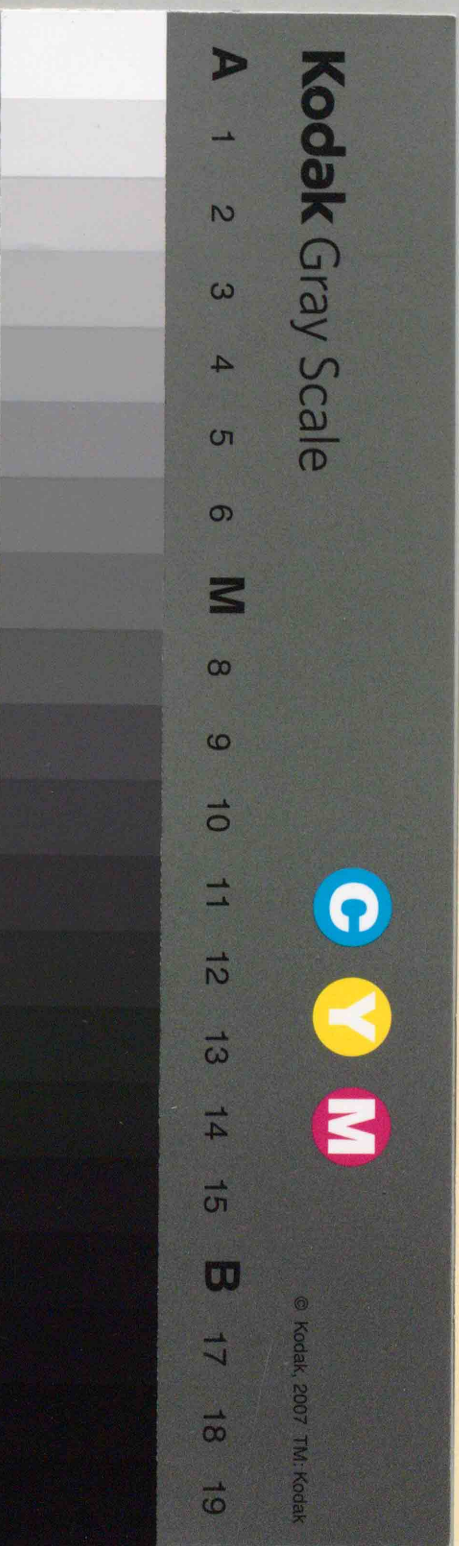
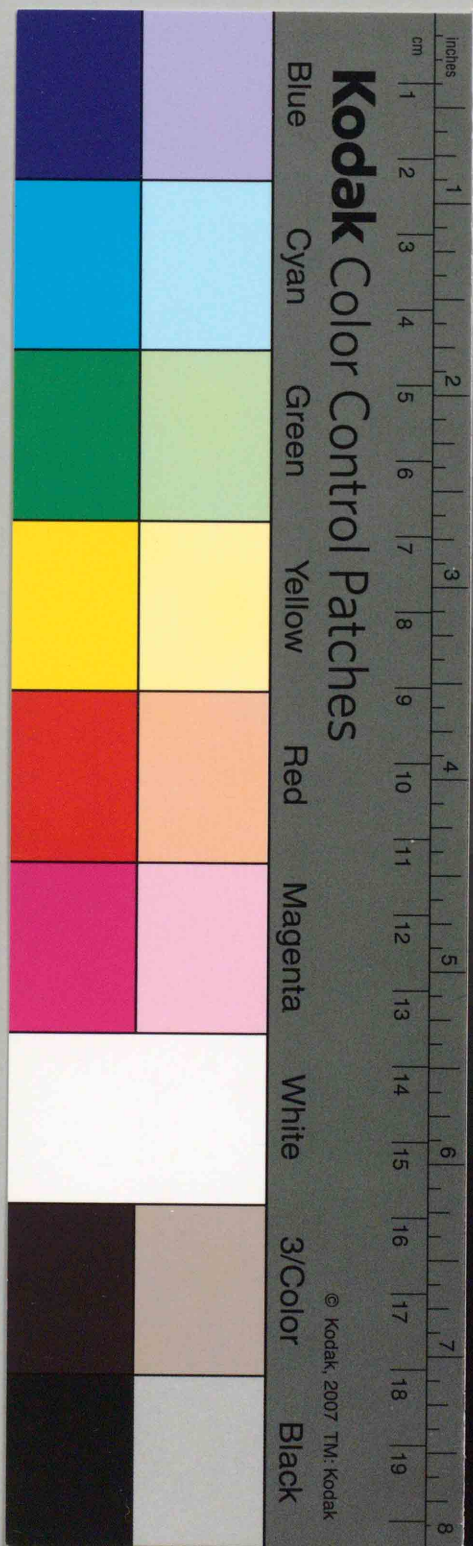
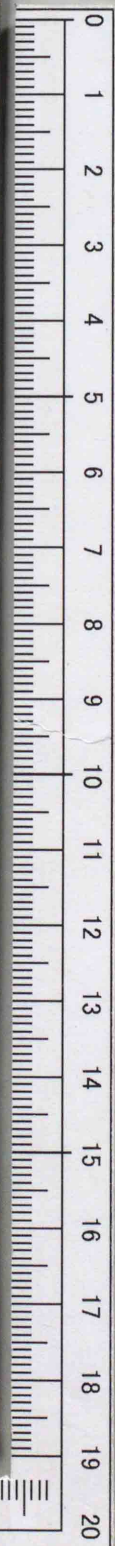


教科書文庫  
4  
290  
32-1926  
2500028066

高等小學地理書卷二  
兒童用  
文部省



42772

教科書文庫

4
290
32-1926
20000 15390

25000  
28066





尚 木 尚  
合

教科書文庫  
4  
290  
32-1926  
2500028066

資 料 室

375.9  
Mok



高等小學地理書 卷二

兒童用

文 部 省

広島大学図書  
2500028066  




東京  
島嶼  
大學  
圖書  
印

第一	地球	一	頁
第二	地球の表面	一	頁
第三	陸地	四	頁
第一	山脈	四	頁
第二	火山・温泉	六	頁
第三	河川	九	頁
第四	湖沼	十一	頁
第五	平野	十三	頁
第六	地殻の變動	十五	頁
第四	海洋	二十	頁
第一	海水・海底	二十一	頁
第二	海流	二十二	頁
第三	潮汐	二十五	頁
第四	波浪	二十六	頁
第五	大氣	二十七	頁
第一	氣温	二十七	頁
第二	風	三十	頁
第三	雨	三十三	頁
第四	氣候	三十五	頁
第六	生物の分布	三十六	頁
第七	人類	四十一	頁
第八	國家	四十八	頁
第九	政治	五十一	頁
第十	教育・神社・宗教	五十七	頁
第十一	産業一	六十一	頁
第十二	産業二	七十四	頁
第十三	交通	七十六	頁
第十四	都會	八十三	頁



高地二

高地二

東京  
島嶼  
大學  
圖書  
印

# 高等小學地理書 卷二 兒童用

## 第一 地球

地球

我等の住居する地球は太陽を中心として、其の周圍を運行する遊星の一なり。其の形、球の如く、周回凡そ一萬里、面積凡そ三千三百萬方里あり。地球の内部は高熱體にして、外部は地殻をなす。地殻の表面には高き所と低き所とあり。低き所は概ね水に蔽はれて海洋をなし、高き所は概ね水面上に現れて陸地をなす。水陸兩界を包みて大氣あり。生物は水陸氣の三界中に棲息す。

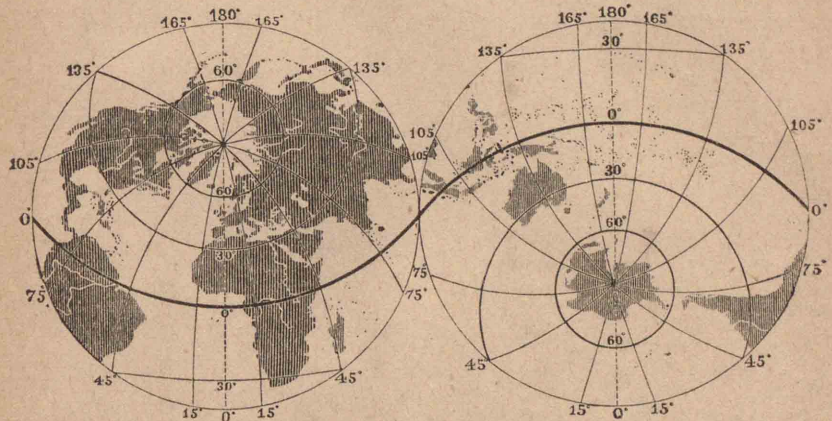
## 第二 地球の表面

第一 地球 第二 地球の表面



水陸の分布

陸地



球半陸と球半水

海洋は相連りて一體をなし、地球表面の約七割を占む。陸地は海洋に隔てられて互に分離し、地球表面の約三割を占む。水陸分布の状態によりて、地球を水陸の二半球に分つことを得。陸地は其の面積の大小によりて、之を大陸と島嶼とに區分す。大陸は普通に之を分ちて、亞細亞・阿弗利加・北亞米利加・南亞米利加・歐羅巴・濠太刺利とす。其の最も大なるは亞細亞にして、世界陸地の約三

高地二

高地二

割を占め、最も小なるは濠太刺利にして、亞細亞の二割に及ばず。以上の諸大陸は其の形概ね北に廣くして、南に尖れり。島嶼は日本列島・馬來諸島等の如く、列島又は群島をなすもの多し。

海洋

海洋は其の面積の大いさによりて、之を大洋と海とに分つ。大洋は之を太平洋・大西洋・印度洋の三つに分つを常とす。其の最も大なるは太平洋にして、廣き略、他の二大洋を合せたるものに等しく、最も小なるは印度洋にして、太平洋の凡そ四割に過ぎず。海の大なるものには日本海・地中海・北極海等あり。

海岸

陸地の海に接する所は海岸にして、或は砂濱をなし、或は磯濱をなし、或は遠淺をなし、或は絶壁をなし、其の出入も亦一



様ならず。六大陸の中にて海岸線の出入の最も多きは歐羅巴にして、最も少きは阿弗利加なり。又日本列島及び英吉利諸島等は面積に比して海岸線の長きを以て著る。

### 第三 陸地

#### 一 山脈

山脈

世界の山脈

陸地の表面は高低一様ならず。山脈は其の高き部分の續けるものにして、中には長さ千數百里に互れるものあり。亞細亞にはヒマラヤ、崑崙、歐羅巴にはアルプ等の大山脈ありて、何れも略東西に走り、北亞米利加にはロッキー、南亞米利加にはアンデス等の大山脈ありて、各略南北に互る。中にもヒマラヤ山脈は世界最高の大山脈にして、其の中に聳ゆる


高地二

高地二

我が國の山脈

エベレスト山は海拔八千八百メートルを超え、世界第一の高峯なり。

我が國の中部地方は、赤石、木曾、飛驒等の諸山脈連互して、一大高地をなし、中に三千メートル内外の高峯少からず。此の高地の西方に南北二帯の山脈あり。南にあるは紀伊山脈、四國山脈、九州山脈の一帶にして、北にあるは中國山脈、筑紫山脈の一帶なり。又中部高地の東北には奥羽山脈ありて、太平洋、日本海兩方面の分水界をなし、其の東にある阿武隈、北上の二山脈、西にある越後山脈、出羽丘陵と相並びて南北に走る。北海道本島には中央を略南北に走れる蝦夷山系ありて、分水界をなし、樺太には西岸に沿ひて東北に走れる樺太山脈あり。臺灣には稍東に偏して之を縦貫せる臺灣山脈あり、

S. Yamamoto  




我が國第一の高峯たる新高山其の中に聳ゆ。又朝鮮には南部に大白山脈ありて、東岸に沿ひ略、南北に互り、北部にも數條の山脈ありて西南より東北に走る。

二 火山・温泉

火山

火山は地殻の弱き所より噴出したる熔岩・火山灰等の堆積して成れるものにして、多くは大陸の沿岸又は島嶼にありて火山脈をなす。

世界の火山

火山は太平洋方面にては日本列島・馬來諸島・ニュージールランド・ハワイ諸島及び南北亞米利加の西岸等に多く、大西洋方面にてはアイスランド・西印度諸島・伊太利等に多し。

我が國の火山

本州の中部には富士山を主峯とする富士火山脈ありて、北は八岳やつがを経て妙高山に至り、南は箱根・天城等の諸火山及び

伊豆七島を経て南方遙に硫黃列島に至る。

富士火山脈の東北には那須・鳥海・千島の諸火山脈あり。那須火山脈は淺間・榛名・男體・那須・磐梯・岩手等の諸山、まつかり岳等を連ねたるものにして、本州の中部より遠く北海道の西部に至る。鳥海火山脈は月山・鳥海山・岩木山等を連ねたるものにして、日本海岸に沿ひて略、南北に走る。千島火山脈はカムチヤカ半島より來り、千島列島に現れ、北海道本島の中部に達して旭岳を起す。

富士火山脈の西には御岳・白山・阿蘇・霧島の諸火山脈あり。御岳火山脈は御岳・乘鞍岳及び立山の一部等より成りて、飛驒高地の東部に現れ、白山火山脈は白山より西に向ひ、中國の北部を通じて大山・三瓶山さんべを起す。阿蘇火山脈は阿蘇山を主



峯とし、西に温泉岳、東に九重山を起して九州を横断し、霧島火山脈は霧島山に起り、櫻島・開聞岳等を経て遠く西南に走る。

温泉

温泉は高温度の水が地殻の割目より湧出するものにして、火山地方に多く、其の含める礦物分によりて性質を異にす。蘆湯箱根山中の如きは硫黄分に富み、有馬兵庫縣の如きは食塩に富み、草津群馬縣の如きは酸類に



(年三正大) 火噴の島櫻

高地二

高地二

富む。而して湯本箱根山中・道後愛媛縣の如きは礦物分を含むこと少し。温泉の一種に間歇温泉あり。一定の時間を隔てて水蒸氣・熱湯を噴騰するものにして、アイスランド・亞米利加合衆國等に其の著しきものあり。我が國にも熱海其の他に其の例あり。

三 河 川

河川

河川は源を高所に發して低所に向ひ、四近の水を合せて進み、遂に概ね海に入るものにして、多くは交通・灌漑及び水力利用等の便を與ふ。河岸に往々繁盛なる都會の成立せるは是等の利便あるが爲なり。

世界の河川

亞細亞には大いなる河川多けれども、よく交通に利用せらるゝものは揚子江・ガンジス河等に過ぎず。中にも揚子江は



水運の便最も多く、河口より重慶に至るまで凡そ六百里の間汽船之を上下す。歐羅巴にはライン・ダニュープ等數多の河川あり、概ね水勢緩にして、運河によりて相連絡し、交通の便を助くること頗る大なり。北米にはミシシピ河ありて、世界の最長流をなし、其の水運甚だ盛なり。南米にはアマゾン河あり、水量甚だ豊富なれども、其の利用未だ盛ならず、阿弗利加にもナイル・コンゴの二大河あれど、何れも舟運の便多からず。

我が國の河川

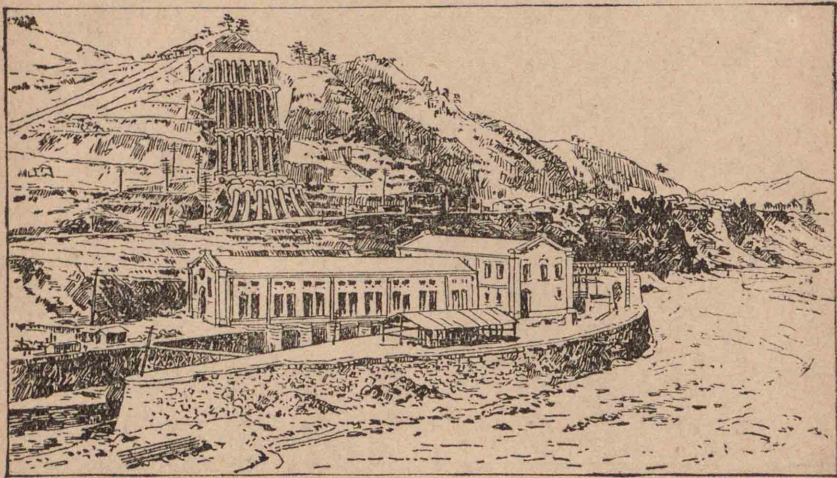
我が國の河川は一般に長からず、且其の流の急なるを以て、交通の便を與ふるもの少けれども、水力の利用すべきものは頗る多し。諸川の中にて交通の便を與ふること稍著しきものは、内地にありては利根川・北上川・信濃川・木曾川・淀川・石

高地二

高地二

湖沼

世界の湖沼



狩川等、朝鮮にありては鴨綠江・大同江・洛東江等、臺灣にありては淡水河等なり。

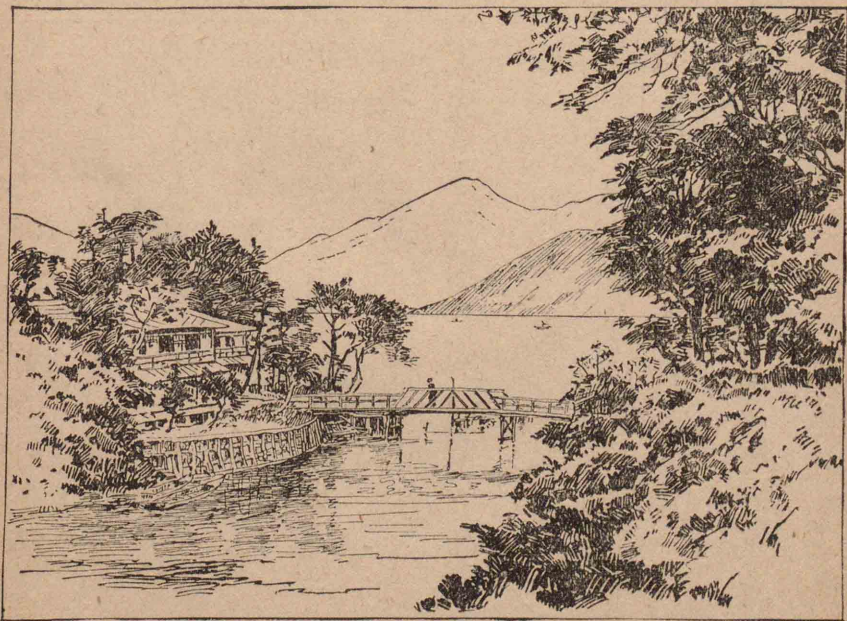
四 湖 沼

湖沼は地面の廣く窪める所に水の溜りたるものにして、淡水湖と鹹水湖との別あり。淡水湖は殆ど皆出口を有すれども、大陸の内部にある鹹水湖は概ね之を缺けり。

世界の湖沼中、最も大なるは裏海にして、其の面積我が全國の



約三分の二に當り、其の東方にあるアラル海、及びエルサレム附近の死海と共に鹹水湖に屬す。死海は陸上最低の部分にして、其の水面は海面を下ること約四百メートルに及び、其の水は塩分甚だ多くして、魚類の生活に適せず。又北米に於けるスペリオル・ミシガン等の五大湖、阿弗利



中 禪 寺 湖

高地二

高地二

我が國の湖沼

加のビクトリヤ湖、西比利亞のバイカル湖等は淡水湖の名高きものなり。

我が國には湖沼の廣大なるものなけれども、其の數は頗る多く、概ね淡水湖に屬す。其の最も著しきものは琵琶湖なり。琵琶湖は交通・灌漑の便多く、水産の利大にして、又水力の利用盛に行はれ、湖畔の風景も亦絶佳なり。

其の他、霞浦・蘆湖箱根山中・中禪寺湖・猪苗代湖・八郎潟・濱名湖・宍道湖等も亦名高き湖なり。

五 平 野

平野は平坦なる廣き土地なり。其の地味肥沃なる所には農業盛に行はれ、他の産業も亦之に次いで起り、人類の活動に最も適する所多し。

平野



世界の平野

亞細亞には支那・印度・メソポタミヤ・西比利亞等の平野あり。中にも支那平野と印度平野とは、人口の稠密なると産物の豊富なるを以て知らる。歐羅巴の東部にある廣大なる平野は、西に擴り、ポーランド・獨逸を経て佛蘭西に及び、洪牙利・伊太利等にある平野と共に、何れも農産物に富む。又北米の中部にある廣き平野は盛に開拓せられて、産物を出すこと益多し。南米の中部にある廣き平野は、南部の外、其の利用なほ未だ盛ならず。

我が國の平野

我が國には處々に平野あれども、何れも甚だ大ならず。其の中にて稍著しきものは、關東平野・越後平野・濃尾平野・大阪平野・筑紫平野・石狩平野・臺灣西部の平野・朝鮮の西部に於ける諸平野等なり。

高原

高原は平野の頗る高きものにして、亞細亞にては蒙古・西藏・イラン・デカン・亞刺比亞等の諸高原を著しきものとす。阿弗利加・濠太利等の内部にも廣大なる高原あり。是等の諸高原には牧畜處々に行はれ、農業も亦行はるゝ所あり。

六 地殼の變動

地殼の變動

地殼の表面は直接間接に、内部よりは地熱の影響を受け、外部よりは大氣・水等の作用を被りて、種々の變動をなせり。

地熱の影響

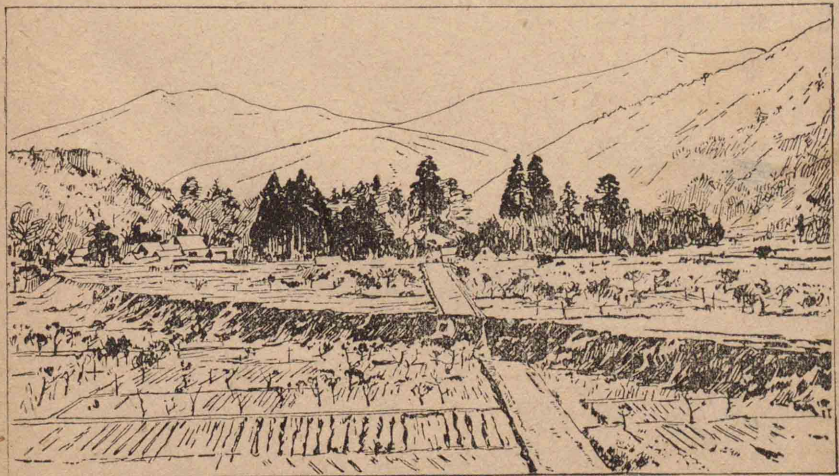
地熱は火山・温泉等と關係あり。而して地熱は常に放散するが故に、地球は次第に冷えて收縮し、地殼は隨つて種々に變動す。高山の地層中に海棲生物の化石を見、海岸に陸地の増加又は減退を見ることあるは、皆地殼變動の例なり。

地震

地震は地盤に急激なる變動の生ずる際に起るものにして、



其の變動甚だしき時は、地盤に喰違、曲折、裂罅、陷落を生ずることあり。是等の變動は太平洋、地中海の沿岸の如く、地盤の弱き所に多く見るものにして、略、火山と其の分布を同じうす。我が國には地震多し。殊に關東、越後、濃尾、大阪、臺灣西部の諸平野、及び長野、山形、秋田等の諸縣に於ては、古來大地震の起りしこと多し。近年に於て最も著しきものは明治二十四年の濃尾



濃尾大地震の際に生ずる地盤の喰違

高地二

大氣の作用

大地震にして、地表に生じたる喰違は斷續して長さ二十餘里に亘り、其の高低の差最も甚だしき所にては六メートルに達せり。大正十二年九月の關東大地震は濃尾大地震より小なりしが、火災を伴ひたるを以て、損害甚だ大なりき。大氣は温度の變化及び風、雨、霜、雪等の作用により、岩石を侵して之を土壤又は砂礫に變ぜしむ。此の作用を風化といふ。風化は屢、沃野、膏土の基をなす。風は砂を吹寄せて海岸又は沙漠に砂丘を作ること少からず。我が國にて砂丘の著しきものは、越後以北の日本海沿岸、薩摩の西海岸等にあり。水の地殻に對する作用も亦甚だ著しきものあり。雨水の地下水となりて、石灰岩の如き溶易きものの中を流るゝ時は、

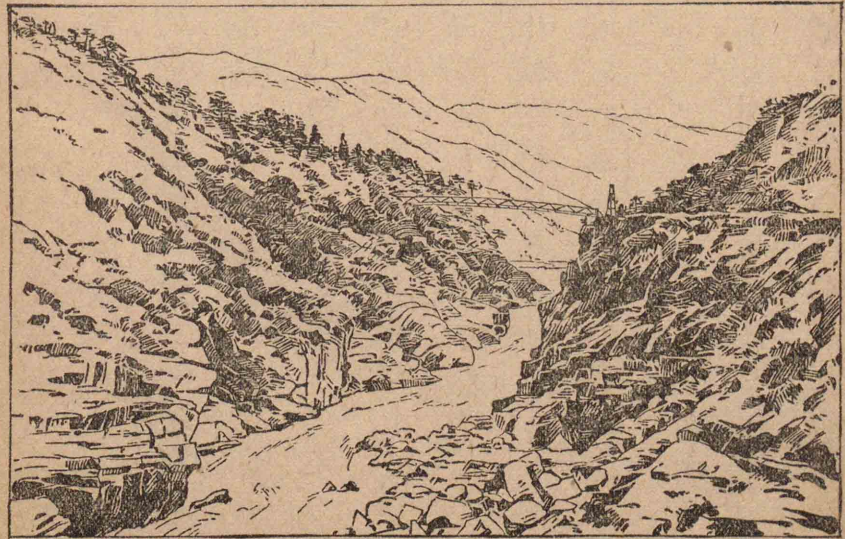
水の作用  
地下水の作用



河水の作用

屢洞窟を生ず。秋吉臺山口日原等東京府に於けるものは其の著しき例なり。

地下水の再び地上に出づるものは、泉となりて河川の源をなす。河水は絶えず河岸と河底とを浸蝕して土砂・礫を下流に運ぶ。河水の浸蝕作用は廣く地上に凹凸を生ぜしめ、殊に上流にありては其の勢盛にして、山間に屢、深き谿谷を穿つ。



木曾川の流上

高地二  
高地一

海水の作用

生物の作用

河水に運ばるゝ土砂は、流の緩なるに随ひて水底に沈積し、屢、河畔・河口に新しき平地を生ず。之を沖積地と名づく。揚子江・ミシシッピ河・ガンジス河等の河畔にはそれ〴〵廣き沖積地あり。我が國にありては利根川・信濃川・木曾川・淀川・筑後川等に沿へるもの稍、廣し。

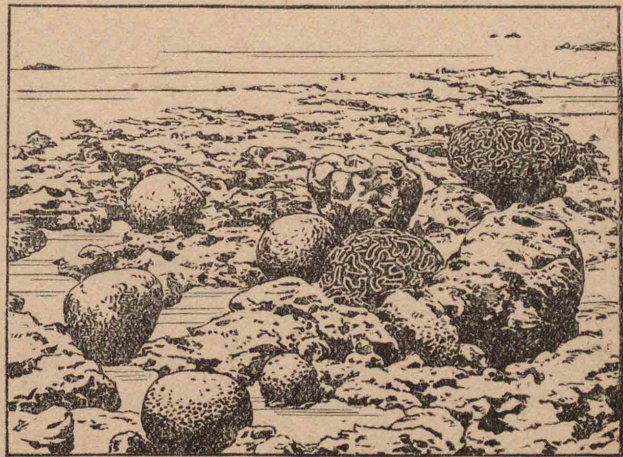
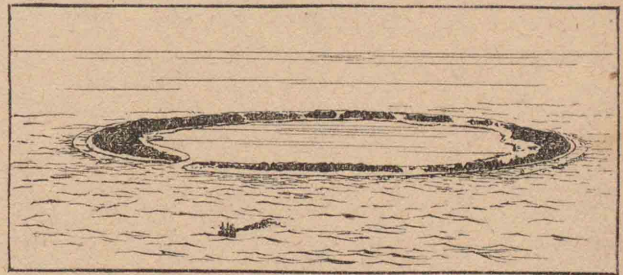
海水は常に海岸を浸蝕して、或は絶壁を作り、或は島嶼を作ることあり。紀伊半島の沿岸に屹立せる絶壁、松島灣内に散點せる數百の島嶼の如きは其の好例たり。

波浪は海流・風と相待ちて海砂を集め、天橋立・夜見濱の如き沙洲を作ることあり。沙洲の大なるものは海灣の一部を抱きて、遂に之を湖となすことあり。中海の如き是なり。

生物も亦大氣・水等の如く、地殻に種々の作用をなす。植物の



根が岩石の間隙に入りて之を砕くは破壊作用の一例にして、珊瑚の珊瑚礁を作るは建設作用の一例なり。珊瑚礁は主として熱帯地方の海洋にあり。我が國にては臺灣琉球列島等の沿岸に之を見る。

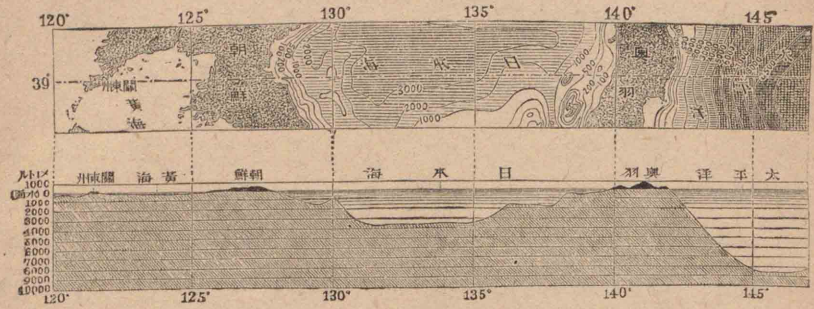


珊瑚礁

第四 海洋

海水

海底



本邦近海の断面圖

一 海水・海底

海水は藍色又は綠色に見ゆるを常とし、又中に塩分を含みて、淡水よりも比重大なり。塩分量は概ね熱帯の海に多くして、寒帯の海に少く、全部平均して千分の三十五なり。海水表面の温度は熱帯地方にては高く、寒帯地方にては低けれども、深所に於ては到る所殆ど同一にして、零度内外なり。海洋の深淺は所によりて同一ならず。大陸に近き海底は一般に淺く、海岸を隔つるに隨ひて次第に深し。而して略二百メ



我が國の近海

一トルの等深線を過ぐれば、傾斜急激となりて俄に深さを加ふるを常とす。其の最も深き所は太平洋の西部なるブリピン群島の東南にありて、九千七百メートルを超ゆ。我が國の近海は太平洋方面に深く、殊に千島列島の南方にはタスカロラ海淵と稱する所あり。其の最も深き所は八千五百メートル以上に及ぶ。又マリヤナ列島附近にはネロ海淵と稱する所あり。其の最も深き所は九千六百メートルを超ゆ。されど日本海及び其の附近に於ける海は三千六百メートルを超ゆる所なく、黄海と東支那海とは殊に淺し。若し我が近海の深さ凡そ二百メートルを減せば、我が列島の大部分は互に接續して亞細亞大陸にも連るに至らん。

二 海流

高地二

高地二

海流

海流は海水が一定の方向を取りて流るゝものにして、其の温度によりて暖流と寒流とに分たる。暖流は總べて赤道附近に起り、赤道海流となりて西に向ひ、大陸の爲に南北の二派に分れ、漸次彎曲して遂に各、一大環流をなす。其の支流には遠く寒帯に至るものあり。寒流は高緯度の所に起りて低緯度の所に及ぶ。何れも氣候、水産物、交通等に大いなる關係を有せり。海流の著しきものは北太平洋と北大西洋とにあり。

大西洋に於ける海流

北大西洋には灣流と呼ばれる、海流、ラブラドル海流等あり。灣流は暖流に屬するものにして、墨西哥灣に起り、東北に向ひて大西洋を横斷し、歐羅巴の西北岸に沿ひて流れ、遂に北極海に達す。ラブラドル海流は寒流に屬するものにして、北



太平洋に於ける海流

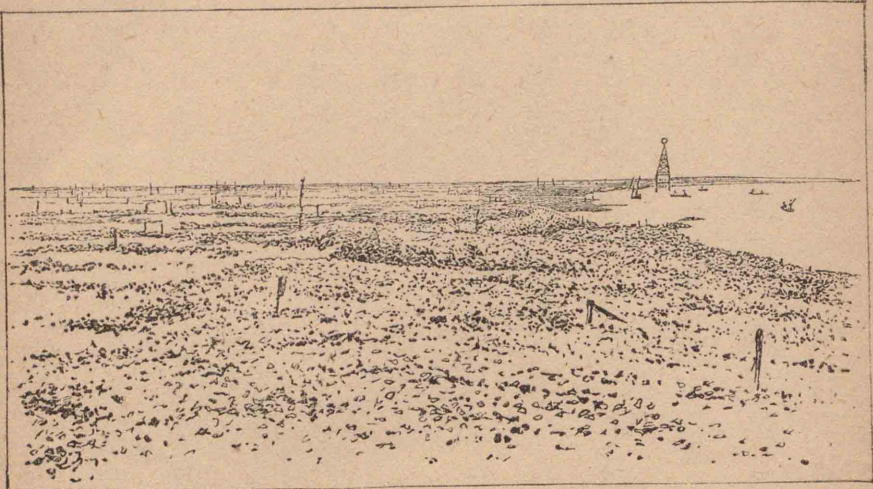
極海に起り、北米の東北岸に沿ひて南流し、ニューファンドランド島の近海に至る。

我が國の近海には日本海流・千島海流等あり。日本海流は北太平洋に於ける暖流の著しきものにして、一に之を黒潮といふ。フィリピン群島の近海より北に向ひ、臺灣及び琉球列島の海岸を洗ひ、九州・四國・本州の太平洋岸に沿ひて東北に進み、遂に北米の西岸に達す。其の支流なる對馬海流は琉球列島の近海にて本流より分れ、九州の西を過ぎて日本海に入り、本州・北海道本島の西を経てオホーツク海に及ぶ。

千島海流は寒流にして、一に親潮といひ、カムチャッカ半島の近海より千島列島に沿ひて西南に向ひ、更に北海道本島の南岸を経て本州の東岸を洗ふ。此の外、オホーツク海の北部に

高地二  
高地二

潮汐



有明海に於ける干潮と養殖牡蠣

起る寒流あり、樺太島の爲に分れて樺太・リマンの二海流となる。樺太海流は樺太の東を流れて宗谷海峽附近に達し、リマン海流は樺太の西を流れ、大陸に沿ひて朝鮮半島の東岸を洗ひ、朝鮮海峽に至る。

三 潮 汐

海水は凡そ十二時間毎に一回の満干をなす。潮汐は主として日月の引力によりて生ずるものにして、殊に月の引力に關す



潮流

ること多きが故に、新月と満月との頃には、満干の差甚だ大なり。満干の差は又海陸の位置、海岸線の形状等によりて異なり。其の最も大なるは北米の東岸なるフンデー灣に於けるものにして、二十メートル餘に達す。我が國にては朝鮮の仁川附近に於ける凡そ十メートルを最も著しきものとす。九州の有明海に於けるもの亦著し。海洋には海流の外、又潮汐によりて生ずる海水の流あり。之を潮流といふ。我が國にありては鳴門海峡に於けるもの最も名高く、其の速度一時間五里以上に及ぶ。

四 波 浪

波浪

波浪は普通、風の爲に起るものにして、風力の強大なるに隨ひ、其の高さも亦加りて、十餘メートルに及ぶことあり。

高地二  
高地二

津浪

津浪は大波浪の俄に海岸に襲來するものにして、或は海底の地震に基づき、或は暴風によりて起る。其の甚だしきものは高さ六十メートル以上に及ぶことあり。我が國にては、明治二十九年奥羽地方の東岸を襲ひたるもの最も著しく、其の高さ約二十五メートルに達せり。

第五 大 氣

一 氣 温

氣温の異同

大氣の温度は主に太陽の熱に基づくものにして、赤道地方は日光概ね直射するを以て温度高く、兩極地方に至るに隨ひて日光益、斜に照すを以て温度次第に低減す。地球の表面に熱帶・温帶・寒帶の別あるは之が爲なり。大氣の温度は又低



地より高地に上るに随ひて低下す。されば熱帶地方にても高地には氣温高からずして人身に適する所多く、更に其の高さを増して凡そ四千五百メートル以上に及べば、年中白雪を戴く所さへ少からず。

氣温は又海陸の分布、海流の寒暖、山脈の方向、風の方角等の影響を受くること少からざるが故に、緯度及び海拔を同じうする土地と雖も、必ずしも其の氣温を同じうせず。

北半球に於て氣温の最も高き時期は概ね七月にして、最も低きは概ね一月なり。されど我が國にありては八月に最も高く、二月に最も低き所多し。

世界酷熱の地はサハラより亞刺比亞・イラン地方に至る一帯の地にして、夏季の平均温度三十五度に達す。就中サハラ

世界に於ける氣温の分布

高地二

高地二

の如きは年平均温度三十度に上り、最高温度五十三度に上ることあり。世界最寒の地は西比利亞・加奈陀等の北部にして、年平均温度零下十度以下に下る。殊に西比利亞にては最低温度約零下七十度に下る所あり。

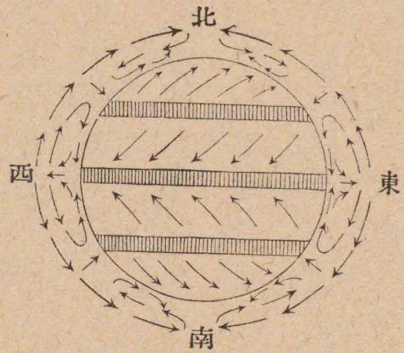
我が國に於ける氣温の分布

我が國は概して寒暑共に甚だしからず。高熱の地たる臺灣・琉球列島・小笠原諸島にても、年平均温度二十五度に上る所なく、一年中にて最も暑き七月又は八月の平均温度も二十八度に達する所殆どなし。寒冷の地たる樺太にても一年中最も寒き一月の平均温度零下二十三度に下る所なく、年平均温度は概ね零度を下らず。我が國の測候所にて觀測せるものの中、年平均最高温度は恒春しゅんに於ける約二十四度にして、年平均最低温度は敷香しゅか太たいに於ける約零下一度なり。



二 風

風は氣壓に高低の差の生じたる時に起り、氣壓の高き所より低き所に向ひて吹く。而して氣壓は赤道地方に低く、中緯



地球表面の氣流

度地方に高きが故に、風は中緯度地方に起りて赤道地方に向ふを常とす。此の風は地球自轉の影響により、北半球にありては東北風となり、南半球にありては東南風となる。是等は貿易風といひ、熱帶地方の海洋に

著しく現る。

氣壓は夏季にありては、概ね大陸に於て低く、大洋に於て高し。冬季にありては、之に反するを常とす。されば風は概して

季節風

高地二

高地二

夏季大洋より大陸に向ひて吹き、冬季大陸より大洋に向ひて吹く。かく季節によりて略、一定の方向に吹く風を季節風といふ。季節風の著しき所は亞細亞の南部より東部に互れる地方なり。我が國の季節風は、冬季には北風又は北西風にして、亞細亞大陸の内部より來り、夏季には南風又は南東風にして、太平洋方面より來る。

風の速度には大小あり。人をして僅かに風あるを感ぜしむる程のものを軟風といふ。其の速度一秒間約二メートルに過ぎず。樹を抜き家を倒す程のものを颶風といふ。其の速度一秒間三十メートル以上に達す。

天氣靜穩なる時、風は日中、海より陸に向ひて吹き、夜間、陸より海に向ひて吹くを常とす。之を海風・陸風といふ。海風と陸

風力階級

海風・陸風



我が國の暴風

風と交代する際朝夕一時風の止むことあり、之を朝なき夕

なきといふ。

我が國に襲來する

暴風中最も著しき

ものを颱風とす。颱

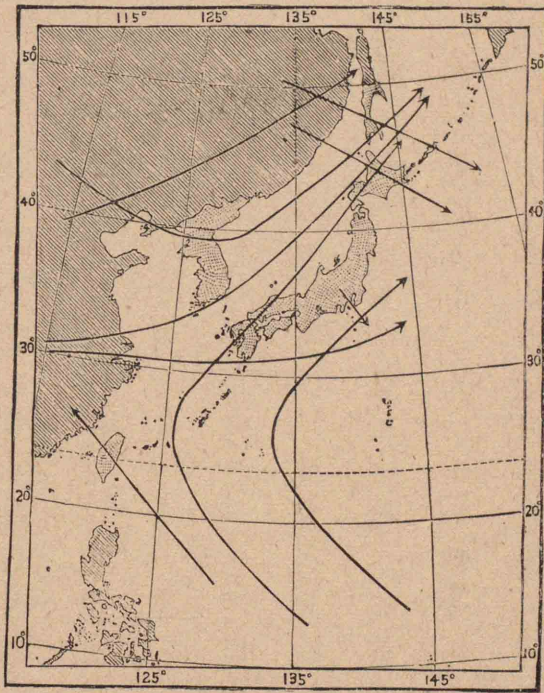
風は主としてマリ

ヤナ列島、フリピン

群島方面に起り、初

は北西に向へども

漸次方向を北東に轉じ、九州、四國、本州等を襲ふこと多し。颱風は概ね夏季に起り、二百十日前後に於て其の勢殊に猛烈なり。此の他、西比利亞、支那地方に起りて我が國に襲來する



本邦暴風の進路

高地二

暴風もあり。

三 雨

雨量

大氣の温度下る時は、其の中に含まるゝ水蒸氣の一部は凝結して、或は雲霧となりて空中に浮び、或は雨雪等となりて地表に下る。雨雪等の地表に下りたる量を雨量といふ。雨量は通例ミリメートルを以て計る、一ミリメートルの雨量は一坪につき一升八合餘なり。雨量は地勢、森林、海流、氣温、風等の影響によりて各地一様ならず。

世界の雨量

世界に於て雨量の甚だ多き所は、ヒマラヤ山脈の東南部より馬來諸島に及べる一帯の地方、アマゾン河の流域、アフリカのギネヤ灣沿岸地方等にして、中にもヒマラヤ山脈の東南麓なるアッサム地方には、一年の雨量一萬二千ミリメートル



我が國の雨量

ルに達し、世界第一の多雨地と稱せらるゝ所あり。又雨量の甚だ少きは、サハラより亞刺比亞・イラン高原を経て、中亞細亞・蒙古高原等に至る一帯の地方、北米西部の高地、濠洲の内部等にして、何れも年二百五十メートル未滿なり。

我が國は雨量一般に多し。冬季季節風の吹く時季には、雨量概ね少けれども、本州及び北海道の日本海に面する地方にては、此の時季に雨量頗る多く、殊に北陸地方等にては、多量の積雪を見る所あり。夏季季節風の吹く時季には、雨量概ね多く、殊に太平洋に面する地方に甚だし。此の季節の半頃には本州の大部、四國・九州、朝鮮の南部に梅雨の現象あり。

我が國にて雨量の殊に多きは、臺灣の北部、九州・四國・紀伊半島の南部、及び中部地方と奥羽地方との日本海に面せる一

高地二  
高地二

氣候

帯の地等にして、年雨量三千メートル以上に達する所少からず。雨量の殊に少きは、北海道の大部、樺太、朝鮮の西部等にして、一千ミリメートルを超ゆる所極めて稀なり。

四氣 候

氣候とは各地に於ける氣温・氣壓・晴曇風雨等即ち天氣の平均状態をいふ。氣候は熱帶・温帶・寒帶によりて大いに其の趣を異にす。熱帶は氣温高く、雨量甚だ多く、季節風の地方にありては降雨期と乾燥期との別あり。温帶は四季の區別明がにして、雨量多く、寒帶は冬季長く、氣温低く、雨量少し。

沿海地方は一般に氣候濕潤にして、概ね温和なれども、大陸の内部は概して空氣乾燥し、寒暑共に甚だし。氣候に海洋性と大陸性との別あるは之が爲なり。



我が國の氣候

我が國は地勢狹長にして、大部分温帶に位し、且殆ど皆海洋を環らして、暖流の影響を受くる所多し。されば我が國の氣候は概ね温和にして、多くは海洋性に屬す。

### 第六 生物の分布

生物の分布

生物は水中のものと陸上のものと大いに其の種類を異にす。又水中のものは水の性質・深淺等により、陸上のものは地勢・風土等によりて、其の分布一様ならず。されば赤道地方より兩極地方に進むに隨ひ、又低地より高地に上るに隨ひて、生物は漸次其の種類・生活状態等を異にす。其の他、乾燥地と濕潤地と、大陸と島嶼とに於ても亦其の趣各同じからず。熱帶の中にて多濕の地には、植物の種類頗る多く、且其の生

植物の分布

高地二  
高地二

育甚だ盛にして、喬木・大樹の雲を凌ぎ枝を交へ、寄生植物之に著生し、蔓生植物之に纏綿して、晝尙暗き大森林をなせるもの少からず。かくの如きはアマゾン河の流域地方、亞細亞の南部より東南部に亙れる地方、阿弗利加の中部地方等に多く見る所なり。平地には椰子樹盛に繁茂し、又諸所に甘蔗・珈琲・稻・綿等の農作物盛に栽培せられ、バナナ・パイナップル等の如き美味の果實にも富む。海岸にはマングローブ樹の密林をなせるもの多し。

温帶地方にては麥・稻・茶・桑等の農作物を栽培し、松・杉・檜等の森林を養成し、花の美麗なるもの、果實の美味なるものをも培養す。

温熱兩帶は植物の生育概して盛なれども、往々大氣の乾燥



動物の分布

甚だしきが爲に、大沙漠をなせる所あり。サハラは其の最も著しき例なり。又一年の中、乾燥季には不毛の地となり、降雨季には緑野に變ずる所あり。蒙古及び中亞細亞の草原、南米南部の草原等即ち是なり。

寒帶地方にありては植物甚だ少く、其の發育亦良好ならず。殊に西比利亞、加奈陀等に於ける凍原の如きは、夏季に於て僅かに蘚類、地衣類の生ずるを見るのみ。

動物は亦氣候の影響を受け、且海洋、山岳或は食物等の爲に其の住所を限らるゝが故に、各地其の種類を同じうせず。例へば猩猩類、象、獅子、虎、犀、鱈等は亞細亞、阿弗利加、ヤク、孔雀等は亞細亞、河馬、ジラフ、ゼブラ等は阿弗利加、コンドル、ピューマ、リマ、アルバカ等は南米、カンガル、鴨嘴獸、エミュー等は濠洲

高地二

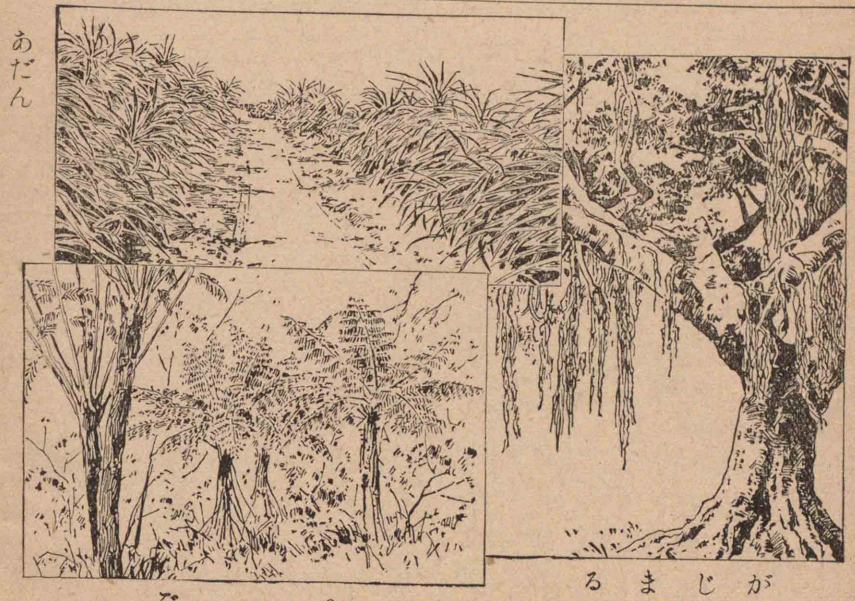
高地二



一 白熊  
二 猩猩  
三 獅子  
四 コンドル  
五 ビュートマ  
六 リヤマ  
七 アルバカ  
八 エミュー

動物の界世





物植帯熱の邦本

に限らるゝが如し。概して熱帯地方にては、巨大なるもの、猛悪なるもの多く棲息し、温帯地方にては、牛・馬・羊・豚・鶏等の如き家畜・家禽多く飼養せらる。寒帯地方にては、兩極に近づくに隨ひて動物大いに減少し、終には僅かに馴鹿・白熊・ペンギン等を其の著しきものとするに過ぎず。

高地二

高地二

我が國に於ける植物の分布

我が國に於ける動物の分布

我が國は地勢變化に富み、風土所によりて一樣ならざるが故に、植物は其の種類甚だ多く、隨つて所によりて、其の景觀を異にす。臺灣・琉球列島等にはがじまる・バナナ・あだん・へこ等多く成長し、臺灣の山地、九州四國及び本州には松・杉・檜等の森林多く、朝鮮にはから松もみ等多く、北海道樺太にはとど松・えぞ松・から松等の森林あり。動物も亦地方によりて多少の異同あり。本州・四國・九州の猿・猪、本州のさんせううを、琉球列島のはぶ、小笠原諸島の海亀、北海道本島の赤熊、千島列島のらつこ、朝鮮の虎は、其の地方固有の動物なり、其の他、臺灣には水牛、樺太には馴鹿多し。

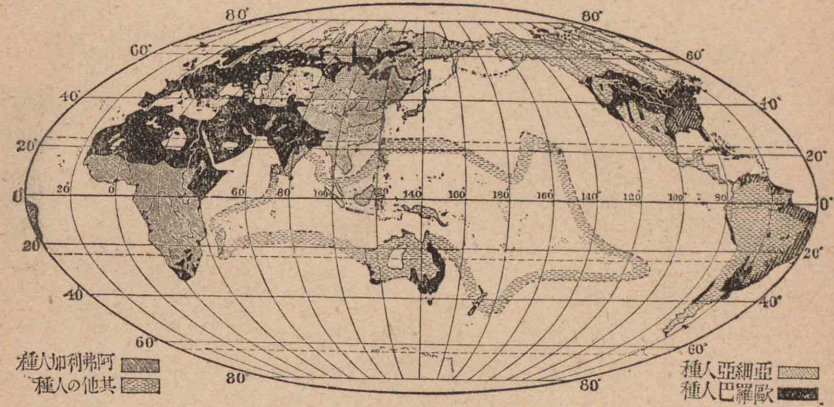
第七 人類



世界の人種



(人土加利弗阿)種人加利弗阿 (人那支)種人亞細亞  
 (人利吉英)種人巴羅歐  
 (人土加利米亞)種人加利米亞 (人ワヰジ)種人來馬



人種の分布

人類は智徳に富み、よく周囲の事情に適應し得るを以て、地上到る所に住居し、其の數十七億に達す。人類は其の容貌・體格等、地方によりて異同あり。便宜之を大別して亞細亞人種・歐羅巴人種・阿弗利加人種等とす。  
 亞細亞人種は其の皮膚概ね黄色を帶ぶるが故に、一に黄色人種と稱せられ、其の數約五億七千萬ありて、主として亞細亞に住む。其の中に支那民族は數千年前、文化



既に開け、東洋文明の一大淵源をなせり。  
 歐羅巴人種は其の皮膚白色なるを常とするが故に、又白色人種の名あり。其の数は約八億九千萬に及ぶ。此の人種は元主として歐羅巴に住み、歐羅巴以外にありては、唯亞細亞の南部より阿弗利加の北部に亙れる一帯の地に住居するに過ぎざりしが、近世に至りて盛に世界の各地に移住し、今や南北兩亞米利加、大洋洲、阿弗利加洲の南部、亞細亞の北部等、到る所其の住地たらざるはなきに至れり。此の人種中、印度・メソポタミヤ・埃及等にありしものは、先づ數千年前に於て既に文化の域に進み、希臘羅馬等にありしもの之に次いで開け、以て今日に於ける西洋文明の基礎をなせり。  
 阿弗利加人種は概して其の皮膚黑色なるが故に、又黒色人

種の名あり。主として阿弗利加の中部以南に住し、其の數一億餘あり。多くは野蠻の域を脱せざれども、移されて南北兩亞米利加にあるものの中には、頗る知識の進歩せるものなきにあらず。

以上の外、尙數多の人種あり。就中馬來半島・馬來諸島等に住する馬來人種、南北兩亞米利加の諸所に住する亞米利加人種等は其の主なるものとす。

## 世界の人口

六大洲中、人口の最も多きは亞細亞にして、其の數九億に近く、世界人口の二分の一以上を占む。最も少きは大洋洲にして、亞細亞の百分の一に及ばず。世界人口の密度は一方里につき平均約百七十人にして、歐羅巴は其の四倍に及び、白耳義・和蘭・英吉利等の諸國に於ては殊に稠密なり。亞細亞は人



我が國の種族

我が國の人口

口密度の大なること歐羅巴に次ぎて、世界平均密度の二倍に近く、其の中にて密度の殊に大なるを我が國とす。而して他の諸洲は皆世界平均密度に及ばずして、最も疎なる大洋洲に於ては、世界平均密度の十分の一にも達せず。

我が國の住民は殆ど皆亞細亞人種に屬し、大和民族は太古以來其の大部分を占む。此の他、北海道と樺太とはアイヌ人等あり、臺灣には支那民族、馬來人種に屬する土人等あり、朝鮮には朝鮮人ありて、各其の氣質、風俗等を異にすれども、何れも大和民族特有の美風に同化せられつゝあり。

我が國の人口は約八千萬にして、世界人口の凡そ二十分の一に當り、一方里の平均人口は約一千八百人にして、世界人口の平均密度の約十倍に當る。就中、密度の殊に大なるは關

高地二

言語

東平野、濃尾平野、近畿の諸平野、瀬戸内海の沿岸、九州の北部、臺灣の西部、朝鮮の西部、南部等の諸平野等にして、其の甚だ疎なるは樺太、北海道、臺灣の東部等なり。

言語にも亦種類多く、各國獨特の國語あり。されど國によりては數種の言語並び行はるゝ所なきにあらず。

世界に於て最も廣く行はるゝ言語は英語にして、英吉利の外、英領各地及び北米合衆國等にも行はれ、又商業上の用語として其の他の諸國にも廣く用ひらる。佛蘭西語は佛蘭西の外、白耳義、瑞西等にも行はれ、又各國の外交上及び上流社會の交際上の用語として用ひらる。獨逸語は獨逸の外、奧地利、瑞西等にも行はれ、西班牙語は西班牙の外、墨西哥、中央亞米利加及び南亞米利加の大部分等にも行はる。我が日本語



は内地の外、なほ朝鮮・臺灣・樺太等にも漸次普及し、更に國外の一部にも及べども、以上の諸國語に比すれば、之を使用する人口多からず。

### 第八 國家

國家

現今世界に於ける國家は其の數六十に餘れども、眞に獨立の體面を保つものは三十内外に過ぎず。是等の中には君主を戴けるものと然らざるものとあり。我が國は上に萬世一系の天皇ましく、臣民皆忠君愛國の精神に富みて、實に萬國無比の國體をなせり。

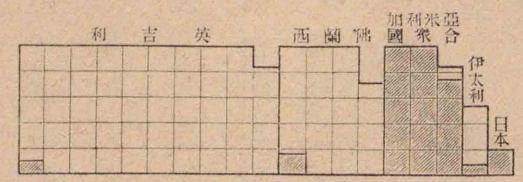
列強國

現今世界の強國と稱せらるゝは我が國及び英吉利・亞米利加合衆國・佛蘭西・伊太利の五國にして、列強本國の面積は米

高地二

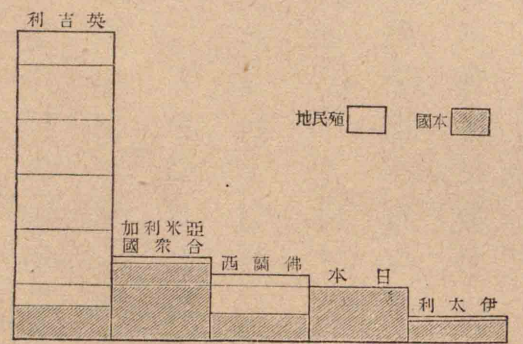
殖民地

#### 五大國面積の比較



國の凡そ六十萬方里を最大とし、伊太利の凡そ一萬九千方里を最小とし、其の人口は米國の約一億六百萬を最多とし、伊太利の約三千七百萬を最少とす。我が國は面積・人口に於

#### 五大國人口の比較



て列強中第二位にあり。是等の諸國は風土概ね其の宜しきを得、國民一般に進取の氣象に富み、國勢甚だ盛なり。列國の中には廣大なる殖民地を有するもの少

からず。就中英國は從來各大洲に互りて、世界陸地の約五分の一に當る面積と、世界人口の約三分の一に當る人口とを



有する殖民地を領せしが、更に近時舊獨逸殖民地の一部を領有し、大部に委任統治權を得たるのみならず、舊土耳其領の一部にも亦委任統治權を得ることとなれり。英國に次いで廣大なる殖民地を有するは佛蘭西にして、これ亦新に舊獨逸殖民地の一部を領有し、舊土耳其領の一部に委任統治權を得ることとなれり。白耳義、葡萄牙、和蘭、伊太利等も亦殖民地を有すること少からず。

租借地

列強の中には租借地を有するものあり、我が國の關東州に於ける、英國の威海衛に於けるが如き是なり。

委任統治

世界大戰の結果、獨逸、土耳其の舊領土にして、委任統治地となりたる所あり。これ國際聯盟の委任を受けたる或る他の國の統治を受くる地にして、赤道以北の舊獨領南洋が我が

高地二

高地二

國境

國の委任統治地となり、赤道以南の舊獨逸領南洋が英本國、濠洲等の委任統治地となりたるが如き即ち此の例なり。國と國との境界には山脈、河湖、海洋或は經緯線等を利用す。我が國は從來海を以て國境となし來りしが、今や樺太にては北緯五十度の線に沿ひ標石を置きて國境を定め、朝鮮にては鴨綠江、豆滿江及び白頭山を以て支那及び西比利亞と境せり。

政體

第九 政治

國を統治する機關を立法、司法、行政の三部に分ち、且國會を開き國民の參政を許すの憲法を定め、之によりて政治を行ふ政體を立憲政體といふ。かゝる統治機關の區別なく、且國



我が國の政體

民の參政を許さざるものを專制政體となす。列國には立憲政體多し。

明治天皇は深く國體の由りて來る所を鑑み給ひ、國民の幸福を増進し、國家の進運を扶持し給はんとの大御心より、明治二十二年紀元節の日を以て、皇室典範及び大日本帝國憲法を發布し給ひ、次いで二十三年帝國議會を召集し給へり。爾來我が國は立憲政體の國となれり。

帝國議會

帝國議會は貴族院と衆議院とより成り、法律案及び歳出・歳入の豫算を議定するを以て其の任務とす。

裁判所

裁判所は法律によりて訴訟を裁判す。大審院・控訴院・地方裁判所・區裁判所の別あり。又朝鮮・臺灣には總督府に、關東州には關東廳に屬する裁判所あり。

160017  
800トル

行政官廳

行政官廳は中央に外務・内務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・遞信・鐵道の十一省あり。各省に大臣ありて全國の行政を管掌す。各省大臣は國務大臣として内閣を組織し、内閣總理大臣は其の首班となりて、行政各部の統一を圖る。

地方の中、本州・四國及び九州地方の三府・四十三縣には各、知事を置き、北海道廳・樺太廳・關東廳には各、長官を置き、朝鮮と臺灣とには各、總督を置き、以て域内の行政を掌らしむ。

府・縣は之を分ちて、郡・市となし、郡は更に之を町・村に分つ。

地方團體

府・縣・市・町・村は各、地方團體として自治機關を備ふ。

外交

列國は通商航海等に關して互に條約を結び、互に首府に大使館又は公使館を置き、又特に重要な都會に領事館を置く。現今我が國と條約を結べるもの三十餘國あり。



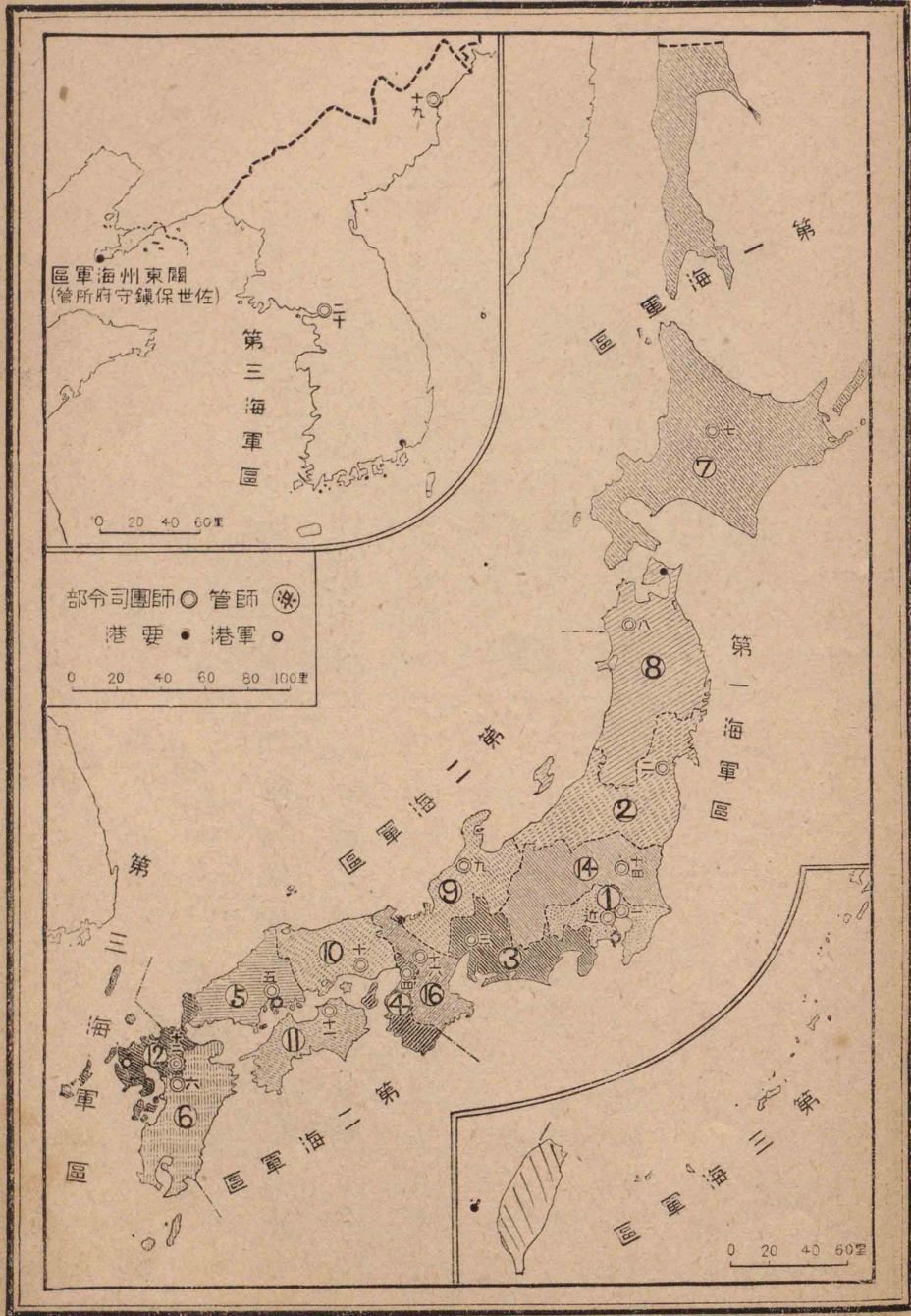
兵備

兵備は國家を防衛し、國權を擁護するに缺くべからざるものなれば、從來諸國各、其の兵備の充實と軍器の改良とを圖らざるはなかりき。

世界大戰前、陸軍は我が國の外、露獨佛の諸國に於て、海軍は我が國の外、英獨澳洪米佛伊の諸國に於て最も優勢なりしが、世界大戰によりて列國の兵力に一大變化を來たしたるのみならず、講和條約によりて、軍備の制限を見ることとなり、現今兵力の優勢なるは日英米佛伊の五國となす。

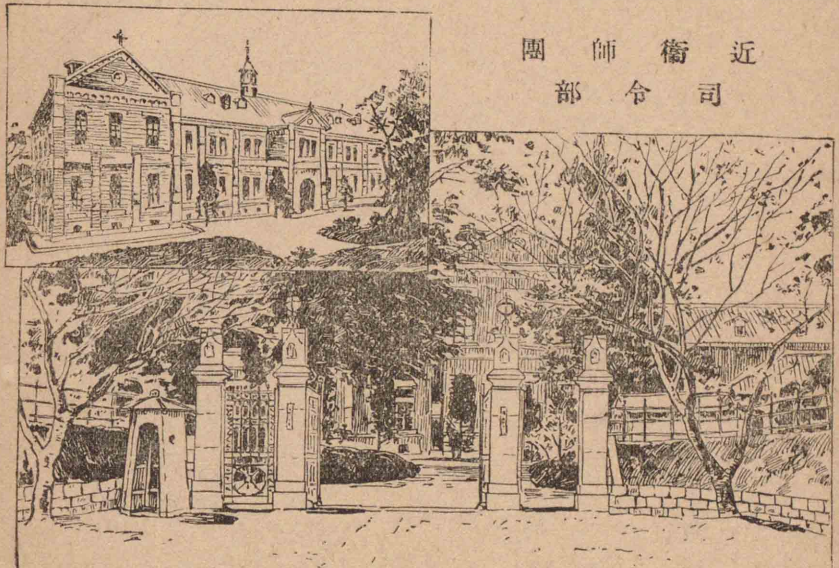
我が國民は建國以來、尙武の氣象に富めり。往昔は國民皆兵の制度なりしが、中古以來、兵馬の事は専ら武門の掌る所となれり。然るに大政維新の後、詔して海内皆兵の制度に復せられ、爾來兵備は之を陸軍と海軍とに分ち、全國の壯丁をし

我が國の兵備





近衛師團司令部



て兵役に服せしむることとなれり。  
陸軍には十七箇師團あり。内地を十四師管區に分ち、各師管區に師團を設く。別に近衛師團を置きて宮闕の守衛に任せしむ。朝鮮には二箇師團を置き、臺灣には守備の部隊を派遣す。而して全國處々要害の地には要塞を設く。  
海軍には八十餘萬噸の艦艇

高地二

高地二

財政

あり。全國の海岸と海面とを三海軍區に分ち、それらの鎮守府をして之を管せしめ、各區に軍港を設け、要害の地には特に要港を設く。  
列國中、歳出の最も多きは英國にして、米・佛・獨の諸國之に次ぐ。歳出は主として國防・交通・産業・教育等の費用に充てらる。歳入は歳出と相釣合ふものにして、租税及び政府の經營に係る事業の収益を其の財源とし、尙不足を告ぐる時は國債を募集して之に充つることあり。我が國の歳入・歳出は各、十五億圓を超え、國債は約五十億圓あり。英・米・佛・獨・奧・伊等の歐米諸國は世界大戰の爲に、何れも多額の國債を負ふ。

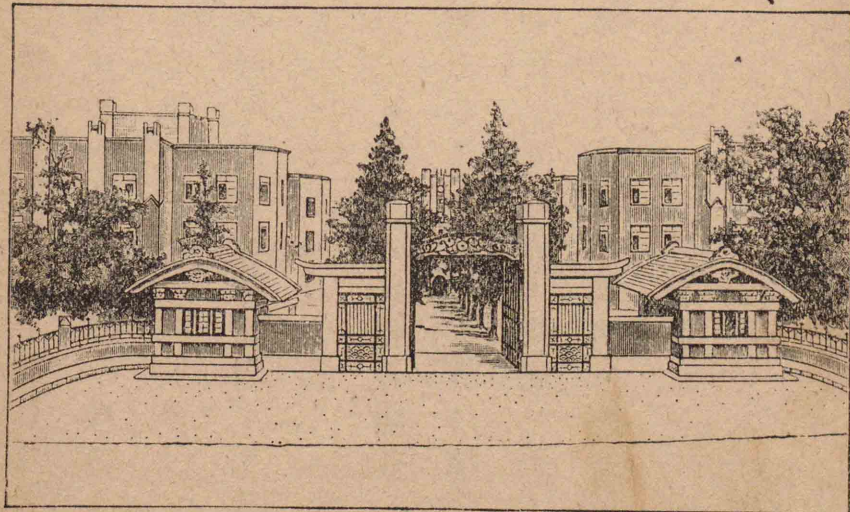
第十 教育・神社・宗教



教育

教育は國民の智徳を増進し品位を高からしむるものにして、其の興廢は國の盛衰に關すること極めて大なり。されば主要なる列國は競ひて力を之に盡さざるなし。現今教育の大いに進歩せるは獨逸・英國・佛國・米國等の諸國なり。

我が國は近來益々教育の進歩普及に力を盡し、全國到る所に小學校を設けて國民を教養し、又諸所に中學校・高等女學校を置



東京帝國大學

我が國の教育

きて高等なる普通教育を施し、各種の實業學校を設けて實業に關する須要の教育を施し、師範學校・高等師範學校等を置きて教師を養成し、帝國大學其他官公私立の大學及び各種の専門學校を設けて高等専門の學術技藝を授くる等、教育の機關殆ど備らざるはなし。

我が國には古來皇室の御先祖を初め奉り、民族の先祖、其他國家に功勞ありし人々等を神として祀り、永く其の徳に報い、之を崇敬するの美風あり。神宮は天照大神を祀り奉る。神社には官幣社・國幣社・府縣社・郷社・村社・無格社ありて、其の數十一萬餘に上れり。

世界に行はるゝ宗教は種々あれども、其の主なるものは佛敎・基督教・マホメト敎等にして、何れも亞細亞に起れり。

神社

宗教



我が國の宗教

佛教は二千四百餘年前、印度に起りし宗教にして、我が國を初め、支那、印度、支那等の諸地方に行はれ、信徒の數約四億に及ぶ。基督教は千九百餘年前、パレスティンに起りしものにして、主として歐羅巴人種の居住する諸地方に行はれ、信徒の數約六億に及ぶ。マホメト教は約千三百年前、亞刺比亞に起りしものにして、亞細亞の南部より阿弗利加の北部に互りて二億餘の信徒を有す。其の他印度地方に行はるゝ印度教、歐米の各地に散在せる猶太人の信ずる猶太教等あり。

我が國には神道、佛教、基督教等並び行はる。神道には神道、黑住教、修成派、大社教等の十餘派あり。佛教には天台宗、眞言宗、淨土宗、臨濟宗、曹洞宗、黃檗宗、眞宗、日蓮宗等の十餘宗ありて、寺院の數約七萬に及ぶ。基督教亦處々に行はれて、會堂の數

高地二

高地二

少からず。

(三) 第十一 産業 一

産業

産業は富國の基なれば、各國競ひて力を之に盡し、國力の充實を圖らざるはなし。

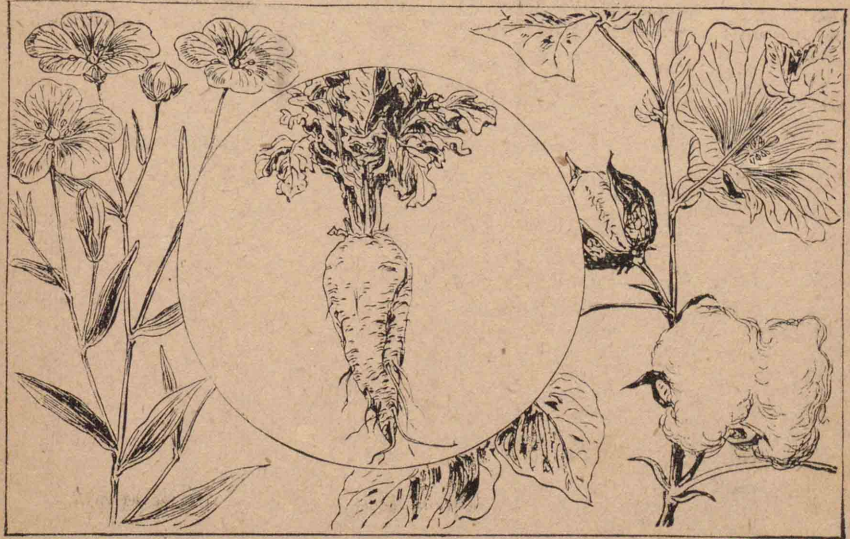
産業には種類多く、地勢、風土、天産物等の異同によりて、各地其の趣に異同あり。肥沃なる平野に農業行はれ、沿海の地に水産業起り、有用礦物の所在地に鑛業開け、工業上の原料又は動力等を得るに便なる地に種々の工業發達し、貨物の集散に便なる地に商業の繁盛を見るの類是なり。

世界の農業

農業は風土の影響を受くること頗る多きを以て、作物の種類、品質、及び收穫の量は各地相同じからず。米、茶は我が國と



支那との温暖なる地方及び  
 印度等に多く産し、又米は印  
 度支那にも多く産す。珈琲は  
 伯刺西爾、甘蔗はキューバ、印度、ジャ  
 ワ等何れも高温なる地方に  
 多く産し、綿は米國、印度、支那  
 等の中にて気温高く且乾燥  
 せる所に多く産す。麥類は米  
 國、露國、加奈陀、印度等、玉蜀黍  
 は米國、馬鈴薯は獨逸、ポーラ  
 ンド、米國、佛國等、甜菜は獨逸、  
 米國等、麻類は露國、印度等に

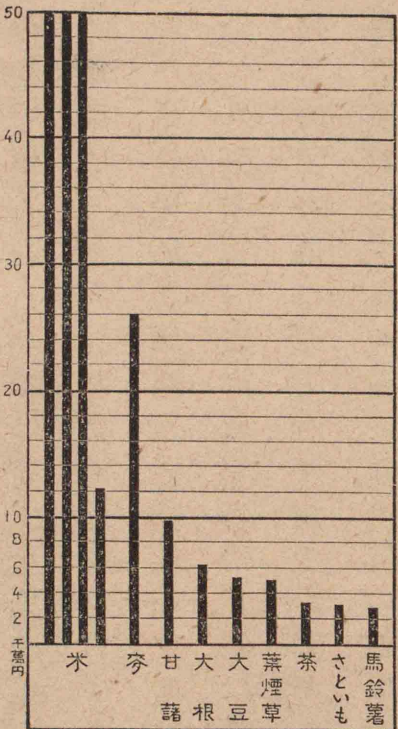


綿 甜菜 亞麻

我が國の農業

多く、何れも暖地より寒地に亙りて産す。

我が國は風土農業に適するを以て、古來斯の業大いに開け  
 て、國內主要の産業たり。殊に近年、耕作の方法著しく進歩し



内地たるを以て、農産物の收穫も隨つて増加するに至り。内地に於ける主要農産物は繭を

除き年産價額總計約二十七億圓に及べり、其の中、米、麥、甘蔗、大豆、葉煙草、茶等は産額殊に多し。米は新潟、兵庫、福岡、愛知、千葉、茨城等の諸縣を主産地として、其の年産額約六千萬



石に及べども、未だ内地の需要を充すに足らず。麥類は茨城・埼玉・熊本・福岡等の諸縣を主産地として、年産額約二千二百万石に達す。甘藷は鹿兒島・沖繩等九州地方を主産地とし、其の他の地方にありては埼玉・千葉・茨城の諸縣之に次ぐ。大根は關東地方を、大豆は北海道及び岩手・茨城・埼玉の諸縣を、葉煙草は、鹿兒島・茨城・栃木の諸縣を主産地とす。茶は靜岡縣に於て其の産額内地總産額の殆ど半に達し、京都・三重・埼玉・奈良等の諸府縣に於ても産額少からずして、臺灣茶と共に輸出農産物の主なるものたり。其の他、果實・蔬菜等の各地に産するもの少からず。

臺灣に於ては米・甘蔗・甘藷・茶を主なるものとし、中にも米は年産額約五百万石に及ぶ。朝鮮に於ては米・麥・粟・大豆を主な

高地二

高地二

世界の養蠶業

我が國の養蠶業

世界の牧畜業

我が國の牧畜業

るものとし、米は年産額一千四百万石、麥は一千萬石を超え、粟は六百万石に近く、大豆は四百七十萬石に及ぶ。

養蠶業は我が國及び支那に最も盛にして、伊太利・西部亞細亞・佛蘭西等之に次ぐ。

我が國に於ける繭は年産額六百万石を超え、其の價額五億八千萬圓に達し、岐阜・愛知より長野・群馬・埼玉を経て福島・山形の諸縣に亘れる一帯の地方其の主産地たり。

牧畜業は主として乾燥せる廣き草地に行はる。牛は印度・米國等に多く、馬は米國・露國等、羊は濠洲・米國・露國・亞爾然丁等に多く飼養せらる。

我が國は廣き草地に乏しく、且氣候濕潤なるが故に牧畜に適する所少く、随つて牛馬等の數多からず。牛は朝鮮を主産



世界の林業

地として、朝鮮に約百六十萬頭、内地に約百五十萬頭あり。又臺灣には水牛、黄牛等約四十萬頭あるのみ。馬は奥羽地方、九州の中部以南及び北海道の諸地方に稍多けれども、全國を通じて約百六十萬頭に過ぎず。

森林には天然林と人造林とあり。天然林の廣大なるものは熱帯多濕の地及び露國、加奈陀、米國等の諸地方に多し。人造林は獨逸、チエッコ、スロバキヤ等の諸地方に多し。森林よりは木材、燃料を初め、果實、菌類等の食料品、工藝品の原料藥品等を出すこと少からず。

我が國の林業

我が國には長野、岐阜、秋田、青森、奈良の諸縣、臺灣の東部、北海道、樺太及び朝鮮の北部に大なる森林あり。木材、薪炭等の林産物は内地のみにても年産價額二億五千萬圓を超え、朝

高地二

高地二

世界の鑛業

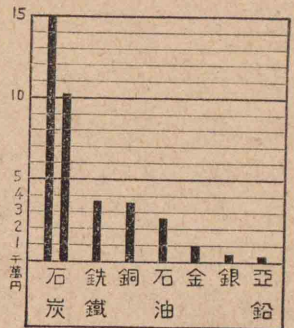
鮮、臺灣に於ても近年産額大いに増加せり。有用鑛物の中、金は南阿弗利加聯邦、米國、濠洲、加奈陀等に、銀は墨西哥、米國、加奈陀等に、銅は米國に多く産す。鐵と石炭とは工業上甚だ重要なるものにして、米國、英國等に多く産す。石油は其の産額米國に最も多く、墨西哥、露國、馬來諸島に於て順次相次ぐ。

我が國の鑛業

我が國の鑛産物は其の産額次第に増加し、内地のみにても年産價額約四億圓なり。臺灣、朝鮮等にも亦産額少からず。鑛産物の中、石炭は内地にありては福岡、佐賀、長崎の三縣に互れる九州の北部に最も多く、北海道、福島縣より茨城縣に互れる地方等之に次ぐ。其の他、我が國の經營に係る南滿洲の撫順炭坑より産する額亦頗る多し。銅は足尾、別子、小坂、日



世界の水産業  
我が國の水産業



内 地 重 要 鑛 産 物 年 産 額 價 (大 正 十 一 年)

立佐賀關にて多く製し、石油は新潟・秋田の二縣に多く産す。金は佐賀關・日立・朝鮮の雲山・遂安・臺灣の金瓜石より多く出で、銀は佐賀關・日立足尾・小坂より多く産す。鐵鑛は釜石・朝鮮の兼二浦・安岳等に産し、八幡釜石・兼二浦等にて之を製鍊すれども、其の量多からざるを以て、八幡にては更に支那より輸入せる鑛石を製鍊す。

以上の鑛産物中、鐵は尙輸入を仰ぐこと甚だ多く、石油も未だ需要を充すに足らず。

水産業は主として北半球に行はれ、我が國及び英國・米國・加奈陀等は著名なる水産國なり。

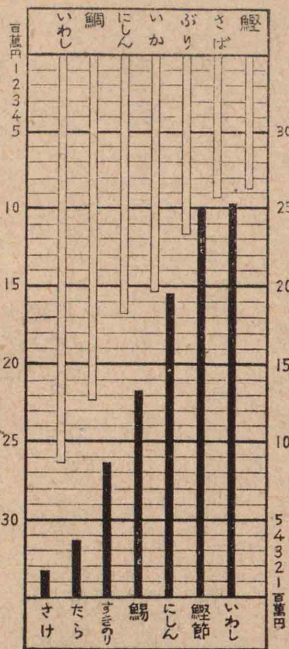
我が國は海岸線長く、且近海に寒暖二種の海流あるを以て、

高地二

高地二

魚類  
鰻 スルメ

漁獲物



内 地 重 要 水 産 物 年 産 額 價 (大 正 十 一 年)

従來水産物の種類と數量に富めり。殊に近年漁具、水産物の製造法及び水産物運搬の設備等改善せられ、且漁業區域益擴り、又魚介類等の養殖處々に行はるゝが故に、水産物の産額大いに増加せり。内地に於ては、漁獲物約二億五千萬圓、製造物約一億七千萬圓なり。漁獲物にはいわし・鯛・にしん・鰻・さば・ぶり・いか・さけ等多く、製造物に

はいわし・鰻・にしん・鰻・すきのり・たら・さけ等多し。漁獲物の多きは北海道・長崎・山口・千葉・神奈川・静岡・兵庫の諸縣にして、樺太・朝鮮も亦漁獲高少からず。



世界の工業

食塩は内地に於ける年産額約十一億斤にして、其の價額三千五百萬圓に達し、主として香川・山口・兵庫の諸縣等、瀬戸内海の沿岸にて製せらる。又朝鮮・臺灣及び關東州に於ても其の産額少からず。

工業は文明の進歩と共に益盛大に赴き、各國競ひて種々の工場を興すに至れり、世界に於て工業の最も隆盛なるは英國・米國にして、獨逸・白耳義・佛蘭西等之に次ぐ。瑞西は山間の小國なれども、亦工業國として名高し。

各種の工産物中、蠶絲は我が國及び支那・伊太利・佛蘭西等、絹織物は我が國及び支那・佛蘭西・米國等、綿絲・綿織物・毛絲・毛織物は英國・米國・獨逸・佛蘭西等、船舶は英國・米國等、鐵製品及び機械類は米國・英國・白耳義等にて多く製造せらる。其の他、獨

高地二

高地二

我が國の工業

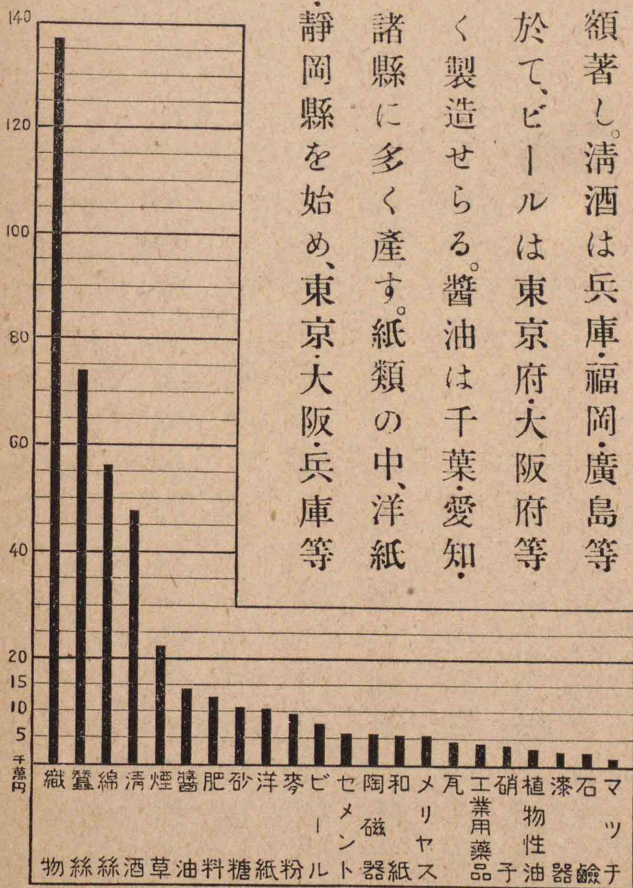
英・米の化學工業品、佛蘭西の葡萄酒等亦名高し。

我が國民は古來技藝に長じ、精巧なる工藝品を産出したること少からず。且近來英國・米國・獨逸等より輸入せる種々の機械を用ふるに至りてより、諸種の工業大いに進歩し、今や内地に於ける重要工産物の年産價額は總計四十五億圓に達す。其の中、織物・蠶絲・綿絲・清酒・煙草・醬油・肥料・砂糖・洋紙・麥粉・ビール・セメント・陶磁器・和紙・メリヤス等は産額殊に多し。而して此の中には蠶絲織物・綿絲・陶磁器・メリヤス・紙及び紙製品・マツチ等の如き重要な輸出品も少からず。

蠶絲は養蠶業の盛なる諸地方に多く産し、就中、諏訪湖附近の岡谷は製絲業に於ては國內第一なり。而して絹織物業は福井・京都・石川・群馬等の諸府縣に於て盛なり。綿絲紡績業は



大阪・愛知・兵庫・東京・岡山等の諸府縣に盛に行はれ、綿織物業も随つて是等の諸地方に隆盛を致せり。殊に大阪府・愛知縣にては其の産額最も多く、和歌山・愛媛・静岡・兵庫の諸縣に於ても亦産額著し。清酒は兵庫・福岡・廣島等の諸縣に於て、ビールは東京府・大阪府等に於て多く製造せらる。醤油は千葉・愛知・兵庫等の諸縣に多く産す。紙類の中、洋紙は北海道・静岡縣を始め、東京・大阪・兵庫等の諸府縣を主産地とし、和紙は高知・愛



高地二  
高地二

媛二縣を主産地とす。而して洋紙は近年其の産額に於て和紙を凌駕するに至れり。粗糖は臺灣を主産地とし、沖繩・鹿兒島二縣に於ても其の産額少からず。されど砂糖精製の業は粗糖の主産地にあらざる。福岡・東京・神奈川・大阪等の諸府縣に盛なり。セメントは北海道・福岡縣を主産地とし、東京・大阪・山口・大分等の諸府縣にも多く産す。染物業は東京・京都の二府に於て最も盛に行はれ、メリヤスの製造にては大阪府を第一とし、東京府・和歌山縣之に次ぐ。麥粉は東京・兵庫・群馬の諸府縣を主産地とし、肥料は東京・熊本・大阪の諸府縣を主産地とす。

その他、陶磁器・瓦・工業用藥品・硝子・植物性油・石鹼等の製造業もそれ／＼年を逐ひて盛運に向ひ、造兵・造船・建築等の工業



も亦近年長足の進歩をなせり。

### 第十二 産業 二

世界の商業貿易

商業は産業の發達と交通機關の進歩とに伴なひて、近時大いに隆盛に赴き、各國貿易の發展は實に著しきものあり。貿易の最も盛なるは英・米・佛の三國にして、各貿易年額百數十億圓に上る。伊太利之に次ぎて百億圓に近し、而して白耳義、英領印度獨逸等は、何れも亦貿易盛なり。

我が國の貿易

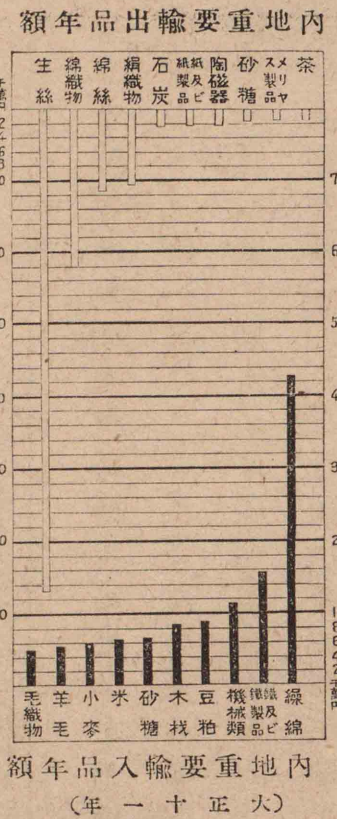
我が國の貿易は近年工業の發達、海運の進歩と共に大いに隆盛に赴き、貿易年總額三十六億圓を超え、世界屈指の貿易國たるに至れり。

横濱・神戸の二港は我が國の最大貿易港にして、其の貿易額

高地二

高地二

を合すれば實に我が國貿易年總額の約七割を占む。之に次ぐは大阪港なり。其他、門司・名古屋・長崎等、臺灣の基隆・高雄等、朝鮮の仁川・釜山等も我が國の主要なる貿易港たり。



輸出品中、最も主要なるものは生絲にして、其の年輸出額は我が國年輸

出總額の約四割に達す。之に次ぐは綿織物・綿絲・絹織物・石炭、紙及び紙製品、陶磁器・砂糖・メリヤスにして、更に之に次ぐは茶・水産製造物・マッチ・樟腦等なり。輸入品中、最も主要なるものは綿綿にして、其の年輸入額は



我が國の年  
 總輸入額の  
 約二割二分  
 に及ぶ。鐵及  
 び鐵製品之  
 入

本邦重要取引先（大正十一年）

取引先	輸出 (千円)	輸入 (千円)
英吉利	10	15
香港	12	18
關東州	15	20
佛蘭西	18	25
英領印度	20	30
支那	25	35
獨逸	30	40
濠洲	35	45
合衆國	40	50

に次ぎ、機械類・豆粕・木材・砂糖・米・小麥・羊毛・毛織物等の輸入額亦少からず。輸出品は多く米國・支那・英領印度・佛國・關東州・香港・英國等に向ひ、輸入品は多く米國・英領印度・英國・支那等より來る。近年蘭領印度・獨逸・濠洲・英領海峽殖民地等との取引亦盛なり。

### 第十三 交通

高地二

交通機關

世界の鐵道



るは歐羅巴の西部と米國の東部とにして、是等の地方に於

又郵便・電信  
 電話・飛行機  
 の利用も益  
 盛なり。  
 世界の鐵道  
 は總延長略  
 七十五萬哩  
 に及ぶ。其の  
 特に發達せ



## 我が國の鐵道

ては線路網の如くに相交れり。列國中、線路の延長最も大なるは米國にして、約二十七萬哩あり。又線路の密度の最も大なるは白耳義にして、一方里につき約三哩の割合なり。我が國の鐵道は延長一萬二千哩を超え、概ね國有なり。其の密度は四方里につき約一哩の割合にして、關東・近畿及び九州北部の諸地方に於ては殊に密度の大なるを見る。本州の幹線は東北線・東海道線・山陽線にして、奥羽・總武・信越・磐越・羽越・陸羽・中央・北陸・關西・山陰等の諸線も亦主要なるものなり。九州には本島を縦貫する鹿兒島線及び之より分る、長崎線・日豊線・筑豊線等あり。四國にも亦處々に線路あり。北海道には函館線・根室線・室蘭線・宗谷線等あり。臺灣には西部の平野を縦貫する縦貫線及び其の他の線路あり。朝鮮には京釜

高地二

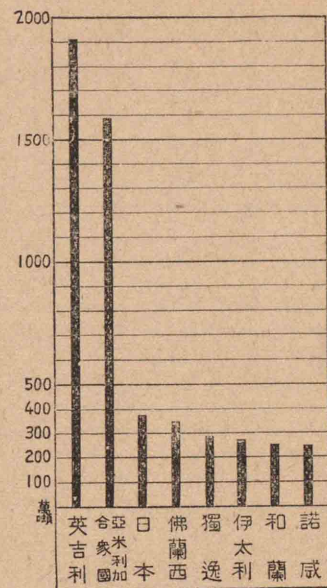
高地二

## 世界の海運業

線・京義線・京元線・湖南線等あり。その他、近時鐵道の敷設せらるゝもの少からず。此の外、尙滿洲には我が國の經營に係る南滿洲鐵道あり。此の鐵道は其の支線なる安奉線によりて京義線と接續し、又本線は直接東支鐵道及び京奉線と連絡して、亞細亞に於ける鐵道幹線の一部をなせり。世界の船舶は、造船業海運業の發達するに隨ひ、其の總數も總噸數も増加して、百噸以上のもの三萬三千隻、其の噸數は六千五百萬噸に近く、大なるものは一隻六萬噸に及ぶ。列國の中、最も多數の汽船を有するは英國にして、世界汽船總數の約三分の一に達す。英國に次ぐは米國・日本・佛蘭西・獨逸・伊太利・和蘭・諾威等なり。



是等沿海諸國の汽船には、其の所屬國國內を交通するは勿論、遠く外國の諸港に定期又は不定期に航路を通じて、世界交通の發達に努むるもの少からず。しかも世界大戰の結果として、海に臨まざる諸國といへども、其の船舶を他國の海岸に碇泊せしめ得るこ



列國船舶噸數比較 (大正十三年)

岸に碇泊せしめ得るこ  
となりたるを以て、世  
界の海運は將來益多忙  
多端なるべし。

世界の航路の中、重要な  
るは紐育・フイデルフィヤ等より大西洋を横ぎりてリバプ  
ル・倫敦・アンヘルス・ハンブルグ等に至るもの、横濱・上海・香港  
シドニー等より太平洋を横ぎりて、バンクーバー・シヤトル

高地二

高地二

我が國の海  
運業

サンフランシスコ等に至るもの、或は更にバナマ運河を經  
て、ニュー・オールリヤンス・紐育等に至るもの、亞細亞の諸港より  
印度洋を横ぎり、スエズ運河を經て、歐羅巴の諸港に至るも  
の等なり。

我が國の汽船は百噸以上のもの約一千七百隻、約三百五十  
萬噸に達し、其の最も大なるは一萬四千噸を超ゆ。又帆船は  
二十噸以上のもの約一萬四千隻、約百萬噸あり。

我が航路の主要なるものは、横濱・神戸・大阪等を中心として、  
内は國內の諸港に至り、外は諸大洲の諸港に至る。海外航路  
の主要なるものには、浦潮斯德・天津・上海・香港・シンガポール  
孟買等亞細亞大陸沿岸の諸港に至るもの、馬來諸島を經て  
濠洲のシドニー・メルボルン等に至るもの、ズエズ運河を經



世界一週

て歐羅巴のマルセイユ・倫敦・リバプール・アンヘルス等に至るもの、太平洋を横きりて北米のシヤトル・タコマ・サンフランシスコ・パナマ・紐育等に至るもの、南米のバルライソ其の他、西岸の諸港に至るもの、印度洋・大西洋を横きりて南米のブエノスアイレスに至るもの等あり。

上に述ぶるが如く世界の交通路は近時著しく發達したるを以て、今や僅かに四十日を以て世界を一週するを得べし。即ち敦賀より出發し、約二日にして日本海を渡り、浦潮斯德より鐵道により、凡そ十三日にして倫敦に達し、是より海路凡そ五日を以て大西洋を渡り、陸路亦凡そ五日を以て北米を横斷し、更に太平洋を航行すること凡そ十三日にして、我が國に歸るを得るなり。

高地二

高地二

郵便・電信  
電話

郵便・電信は各國の國內に通ずるのみならず、諸國間に萬國聯合同盟あるを以て、内外共に其の便多し、又近時電話の使  
用益盛となり、無線電信の便も亦次第に盛なるに至れり、我が國にも是等の機關悉く備り、其の利用も亦益盛なり。

我が國より海外に通ずる電信線には、東京より父島小笠原諸島・布哇等を経てサンフランシスコに至るもの、長崎より浦潮斯德を經又は上海・香港・シンガポール等を経て歐羅巴に達するもの、及びシンガポールより分れ、ジャワを経て濠洲に通ずるもの等あり。我が國の無線電信局は磐城・東京・大阪の外、銚子・落石北海・大瀨崎五島・基隆等諸島にあり。

第十四 都會



## 都會

人類は總べて孤獨の生活をなすこと能はず。必ずや相集りて共同生活を營む。村落は其の簡單なるものにして、都會は村落の發達したるものなり。都會は概ね平野の中にて交通の便利なる河畔海邊等にありて、一國又は一地方の政治産業・交通等の中心をなし、又中には教育・宗教等の中心をも兼ねるものあり。

## 世界の都會

歐羅巴には倫敦を始めとし、伯林・巴里・維也納・モスコー等の大都會あり。其の他の都會中、ハンブルグ・リバプールの如きは商業の盛なるを以て著れ、マンチェスター・バーミンガム・リヨンの如きは工業の盛なるを以て著る。歐羅巴の中にて、英國は殊に都會多くして、人口五萬以上のもの約九十餘に及びり。

高地二

高地二

我が國の都  
邑

北米の東部には、倫敦と並び稱せらるゝ紐育を始めとし、シカゴ・フ、ラデルフ、ヤ等繁盛なる都會頗る多く、何れも商工業の中心をなす。亞細亞にては東部より南部に亘れる一帯の地方に、繁盛なる都會少からず。中にも、我が東京・大阪を始め、北京・天津・漢口・上海・廣東・成都・カルカタ・孟買等は主要なるものなり。其の他の諸大洲にありては、南米のブエノスアイレス・リオデジヤネーロ・モンテビデオ・サンチャゴ・阿弗利加のカイロ、濠洲のシドニー・メルボルン等都會として有名なり。我が國は人口の増殖著しくして、都邑の發達速なり。殊に近年商工業の勃興に伴ひ、人口益、都會に集中するの傾ありて、五萬以上の人口を有する都會、今や五十餘の多きに達せり。中にも東京と大阪とは全國商工業の二大中心地にして、



東京は又政治・學術等の中心をなす。京都・神戸・名古屋・横濱・京  
 城・長崎・臺北・廣島・函館・吳・金澤・仙臺・札幌・福岡・八幡等も亦主要  
 なる都會にして、何れも其の地方に於ける商工業若しくは  
 政治・交通・教育等の中心地たらざるはなし。此の他、或は名勝・  
 舊蹟を以て、或は特殊の産物等を以て名高き都邑少からず。

高等小學地理書卷二 兒童用終

高地二

大正十五年二月九日 修正印刷  
 大正十五年二月十二日 修正發行  
 大正十五年二月十三日 翻刻印刷  
 大正十五年三月八日 翻刻發行

著作權所有

著作兼  
發行者

文部省

高等小學地理書卷二

臨時定價金拾貳錢

翻刻發行  
兼印刷者

大阪書籍株式會社

代表者 三木佐助

印刷所

大阪書籍株式會社工場

大正十五年二月十七日  
文部省檢査濟

發賣所

株式會社  
東京市日本橋區新右衛門町十六番地  
國定教科書共同販賣所



山縣大島郡安下庄町西浦

續本末義所有者

安下庄尋常高等小學校

山縣大島郡安下庄町

山縣大島郡安下庄町

西浦

高二

續本末義

山縣大島郡安下庄町  
西浦

広島大学図書

2500028066

